

活着後は、浅水管理により地温を高め、分けつの発生を促す。  
溝掘りは、「田植後3週間目頃から」を目安に実施し、  
中干しは、「田植後4週間」までに開始する。

## <今後の管理>

### 1 活着後(田植後3~4日以降)の水管理

- ① 3cm程度(田面が露出しない程度)の浅水管理を行う。  
早朝に入水し、日中は止水にすることで地温を高める。
- ② 藻類が発生したり、わいている田では、水の入れ替えや、暖かい日に1~2日程度の軽い田干しを行う。(秋耕しを実施していない場合やひこばえが大きかった圃場では、特に注意)

藻が繁茂した田ではジャンボ剤の効果が弱まるので注意。



藻が発生している状況

### 2 溝掘りと中干し

- ① 田植後3週間目頃(6月上旬を目安)から溝掘りを行う。
- ② 溝は、15条に1本を目安に掘り、水尻につながる。
- ③ 中干しは、田植後4週間までに遅れずに実施する。

溝を設置して水尻に連結し、水管理を効率的に行う。



溝掘り

### 3 中期除草剤の散布

- ① 雑草が発生した場合は雑草の種類や葉齢等に応じた薬剤を散布する。
- ② 散布前には田の水量を適切に調整する。
- ③ 散布後5日間は湛水状態を維持し、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

#### ○中期除草剤を散布する場合のスケジュール例

てんたかく	田植え 5/2	活着後は 浅水管理	水の 入れ替え 5/21	中期除草剤散布 5/22 (田植後20日)	落水 5/29 溝掘り 5/30	中干し開始 5/30 (田植後4週間)
コシヒカリ	田植え 5/15	活着後は 浅水管理	水の 入れ替え 6/3	中期除草剤散布 6/4 (田植後20日)	落水 6/11 溝掘り 6/12	中干し開始 6/12 (田植後4週間)

薬剤名	10a当り 散布量	散布時期	適用雑草名、注意事項等
テッケン1 <sup>キ</sup> 粒剤	1kg	移植後15日~ (収穫60日前まで)	一年生雑草(ノビエ4葉期まで)、ホタルイ、ウリカワ等
テッケンジャンボ	50g×10個		
レプラス1 <sup>キ</sup> 粒剤	1kg	移植後15日~ (収穫60日前まで)	一年生雑草(ノビエ4葉期まで)、ホタルイ、ウリカワ等 (ホタルイ、クログワイが多い場合に使用)
ザーベックスDX1 <sup>キ</sup> 粒剤	1kg	移植後20~30日 (イネ5葉期以降)	一年生雑草(ノビエ3葉期まで)、ホタルイ、ウリカワ等 <b>高温時(30℃以上)、低温時(15℃以下)は使用しない。</b>
ブイゴールSM1 <sup>キ</sup> 粒剤	1kg	移植後20~30日 (イネ5葉期以降)	一年生雑草(ノビエ3.5葉期まで)、ホタルイ、ウリカワ、 藻類による表層剥離等 <b>高温時(30℃以上)、低温時(15℃以下)は使用しない。</b>

**4/1~5/31 春の農作業安全運動実施中!**